



## 第1回愛知県視覚障害者柔道交流会及び学習会

10月1日(日)米田柔整専門学校柔道場において「第1回愛知県視覚障害者柔道交流会及び学習会」(主催:愛知県柔道連盟 後援:NPO法人日本視覚障害者柔道連盟・米田柔整専門学校)が開催された。

「視覚障害者柔道に対する多くの方々の理解を一層深めると共に、柔道を通じて障害者スポーツが今以上に広がり、またそれに関わる全ての人々を取り巻く環境をより向上させ、誰もが住みやすい社会づくりに繋げていくこと」を目的とし、本会から平瀬 守久会員(大曾根)、月野 義明会員(半田)、黒氏 憲会員(中村)、石黒 貴彦会員(岡崎)、そして愛知県柔道連盟障害者柔道部会委員でもある竹上 勝会員(笠寺)をはじめ、小中高生ら学生、一般競技者や指導者等約120名が参加した。また、東京パラリンピックで活躍し、フランス開催パリパラリンピックを目指す、NPO法人日本視覚障害者柔道連盟強化選手の男子60kg級廣瀬 誠選手、男子73kg級瀬戸 勇次郎選手、男子90kg級佐々木 嘉幸選手、女子70kg級西村 淳未選手の4選手が講師として参加された。

ひとくくりに視覚障害と言っても「盲(もう)」と「弱視」があり、障害の度合いは人により様々で、全く見えない「盲」の状態でも幾つかあり、明暗の区別もつかない状態、あるいは明暗の区別はつき、目の前で手を振ると動いているか止まっているかが分かる状態などがある。

また「弱視」の状態は、周りが暗く見える「視野狭窄」や逆に中心が暗く見える状態、中心がぼやけて全体的にテレビの砂嵐のように見える「砂嵐」の状態、全体的にぼやけ、白くかすんで見える「白濁」の状態など様々。そのため、障害の度合いにより試合のカテゴリーもクラス分けされ、視力0.0025以下の「盲」の状態は「J1」、視力0.0032~0.05まで、あるいは視野直径が60度以下の「弱視」の状態は「J2」となっている。



視野狭窄 中心が暗い 砂嵐 白濁

(柔道部長 中村 太)

## 新入会員紹介 ようこそ!愛整へ!

氏名	支部名	施術所名
渡邊 浩充	鶴舞支部	ひろ接骨院
窪田 陽子	半田支部	関接骨院

## 自由民主党愛知県支部連合会 「政経セミナー」

10月23日(月)17時より自由民主党愛知県支部連合会「政経セミナー」が名古屋観光ホテルにて開催された。

森川委員長・石川副委員長・小林監事・藤川委員・竹内委員が出席した。



本会場は満席にて入室できず、サテライト会場にて「セミナー」を聴講した。会場内は超満員であり、熱気にあふれ盛会の内に終了した。(連盟副委員長 石川 益郎)

## 岡崎市防災訓練

9月3日(日)に、岡崎小学校にて防災訓練が開催された。岡崎支部では、黒瀬会員、井上会員、中村会員、青山会員、赤根会員、私の6名の会員で参加をした。

上肢班と下肢班に分かれて、応急処置の固定法を指導した。上肢はビニール袋を裂いて、三角巾の代わりにし、その上からサランラップで体幹に固定した。下肢はダンボールとサランラップを用いて膝関節や足関節の固定をした。参加されていた市民の方々は皆さん真剣に我々の話を聞いていただけたのでやりがいがあった。

(岡崎支部 秋吉 良)



紅葉  
平成二十二年十一月二十三日(火・祝)  
京都・東福寺にて撮影。  
(刈谷支部 岡田 忠士)